Panasonic®

スピーカーシステム
取扱説明書

品番 **SB-TP50**

このたびは、スピーカーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

防磁設計 社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

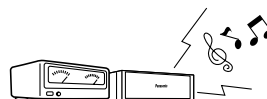
⚠注意

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない**
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない

- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

スピーカーの許容入力を超えるアンプに接続しない

- 定格以上の出力を持つアンプに接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

■付属品

□ゴム足------------------1シート（4個）
買い替え時は1シート(RFA0631A-K)です。

□スピーカーコード
(REE1203A) 約4 m----------4本

□スピーカーコード
(REE1203C) 約10 m--------2本

□スタンドベース取り付けネジ
(XSS5+12FN) ------------------4本

□ナイロンクランプ
(RMR1503-W) -----------------4個

□ナイロンクランプ取り付けネジ
(XTB3+8JFN) ------------------4本

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
(　) 内は買い替え時の品番です。

■スピーカーシステムの構成

スピーカーシステム	SB-FS50×4台
スピーカーシステム	SB-PC50×1台
サブウーハー	SB-W50×1台

- スピーカーシステム（SB-FS50）は4台とも同じです。フロント（左、右）、サラウンド（左、右）スピーカーとしてご使用ください。
- スピーカーシステム（SB-PC50）はセンタースピーカーとしてご使用ください。
- サブウーハー（SB-W50）にはアンプが内蔵されておりません。サブウーハー用アンプを内蔵したアンプを必ずご使用ください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

RQT6613-S

使用上のお願い

■本機のインピーダンスと許容入力

インピーダンス：6 Ω
許容入力：100 W（DIN）

本機が接続できるアンプは、定格出力が100 W（インピーダンスが6 Ωのとき）またはそれ以下のものに限ります。
この定格以上のアンプを使用すると、過大入力による異常音が発生したり、アンプやスピーカーが破損したり、火災の危険が生じる場合があります。もし、破損が生じたり、演奏中に異常が生じたときは、システムの電源コードを抜いて専門のサービスマンにご相談ください。
なお、アンプによっては複数の定格出力を記載しているものがありますのでよくご確認ください。

■テレビに色ムラが生じた場合、テレビとの距離を離す

・本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム<防磁設計（JEITA）>*ですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15 分～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
・近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
・テレビの種類や画面の大きさによっては、画面へ影響する場合があります。テレビから離してご使用ください。

＊「防磁設計（JEITA）」とは社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

■大きな音量で連続使用しない

スピーカー特性の劣化や寿命が極端に短くなる原因になることがあります。

■通常の使用時でも以下のような場合は、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。

・再生音が歪んだとき
・マイクやレコードプレーヤーのハウリング音、FM放送の局間ノイズ、発振器やテストディスク、電子楽器など、大きな信号が連続して加わるとき
・音質調整をするとき
・電源ボタンを入／切するとき

■保護回路について

本機には保護回路が備わっています。アンプからパワーが強すぎるなどの異常な信号が入ってきたときは、保護回路が働いて自動的に信号入力が遮断されます。

・再生中、音が急に途切れたら・・・

❶アンプの音量を下げる
❷再生ソースや接続に異常（ショートなど）がないか確かめる
もし異常がなければ、数分後に保護回路が解除され音が出るようになります。

・保護回路が解除された後は・・・

アンプの音量を上げすぎないように注意してください。

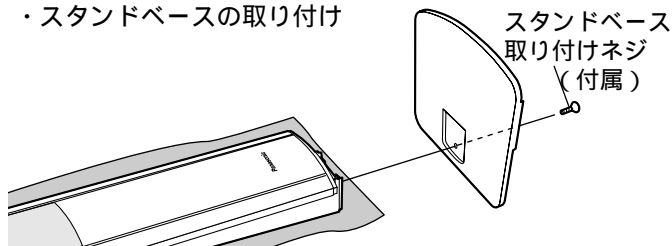
■磁気を帯びたものを近づけないでください

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

設置のしかた

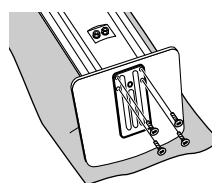
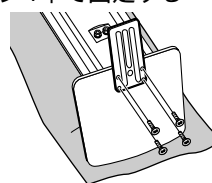
前面のネットに無理な力を加えないでください。前面のネットは取り外しができません。作業をするときは、平らな面の上に置き、傷付き防止のため必ず布を敷いてください。
各作業でのネジ止めは、ゆるみのないようしっかり締めてください。

■フロントおよびサラウンドスピーカー（SB-FS50）

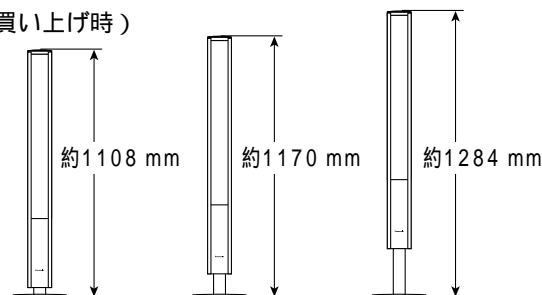
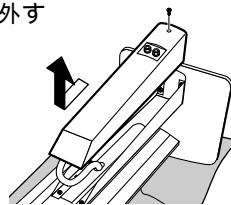
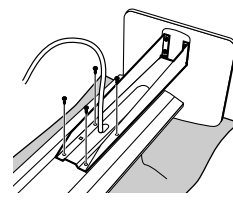
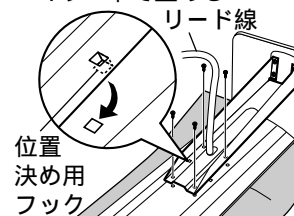
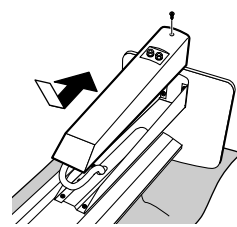
・スタンドベースの取り付け

※本体は、ネット側を上向きに置く。

・転倒防止金具の付け替え

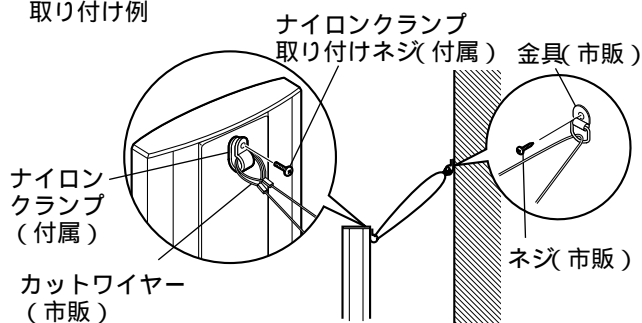
後面側約20 cmの範囲に壁など何もないところに設置するときは、スタンドベース底面の転倒防止金具を下記のように付け替えてください。

❶ネジ4本を取り外す

❷金具を反対方向にしてネジ4本で固定する

・高さ調整のしかた

お買い上げ時の高さは、3段階のうちの一番低い設定になっています。調整は、お買い上げの販売店にご相談ください。

（お買い上げ時）

❶ネジ1本を外して、端子ケースカバーを取り外す

❷ネジ4本を外して、本体取り付け金具を取り外す

❸本体取り付け金具の位置を変えて取り付け、ネジ4本で止める

❹端子ケースカバーを取り付け、ネジ1本で止める

※リード線をはさみ込まないようにしてください。

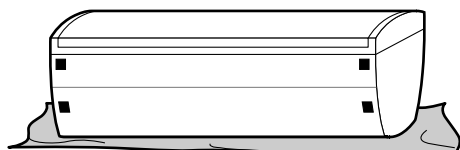
・転倒防止用ワイヤーを取り付けるには

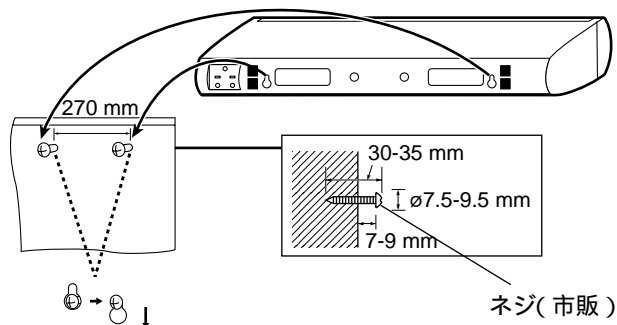
取り付け例

お願い

取り付ける壁には、30 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

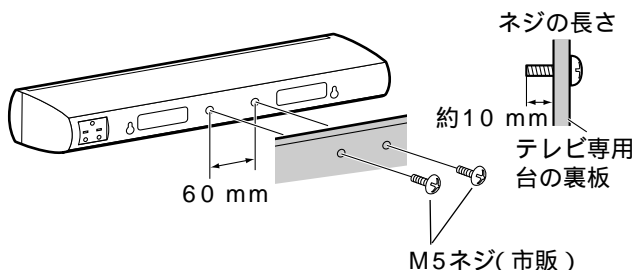
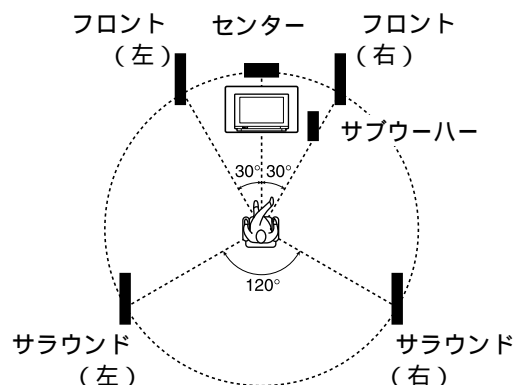
■センタースピーカー（SB-PC50）

・台や床置き時のゴム足（付属）取り付け

振動による移動や転倒を防ぐため、設置する底面の4個所にゴム足（付属）を貼ってください。

・壁掛けするには

ゴム足（付属）は壁に接触する面の4個所に貼ってください。

お願い

取り付ける壁には、10 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

・うしろからネジ止め可能なテレビ専用台に取り付けるには

■設置例

視聴位置からフロント／センター／サラウンドの各スピーカーを同じ距離に設置するのが理想です。
なお、角度はあくまでも目安です。

・フロントスピーカー
テレビの左右に設置してください。

・センタースピーカー
テレビの真上か真下に設置してください。ただし、直接テレビの上に置くと、振動によりテレビ画面が乱れることがありますのでラックや棚などに設置してください。

・サラウンドスピーカー
視聴位置の左右横またはやや後ろに設置してください。

・サブウーハー
ネットのある側に5 cm以上の空間があくように設置してください。置く場所によって低域の周波数特性が変化します。部屋の隅に置くと音量が増加します。

よりよい音響効果を得るための設置

スピーカーの設置方法によっては、低音の量や音像定位など、音質が変わる場合がありますので、以下のことを参考にして設置してください。

・平らで安定した場所に設置してください
・床、壁、コーナーに近づけて設置すると低音が増えすぎる場合があります
・堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛けることをおすすめします

次のような設置場所は避けてください。

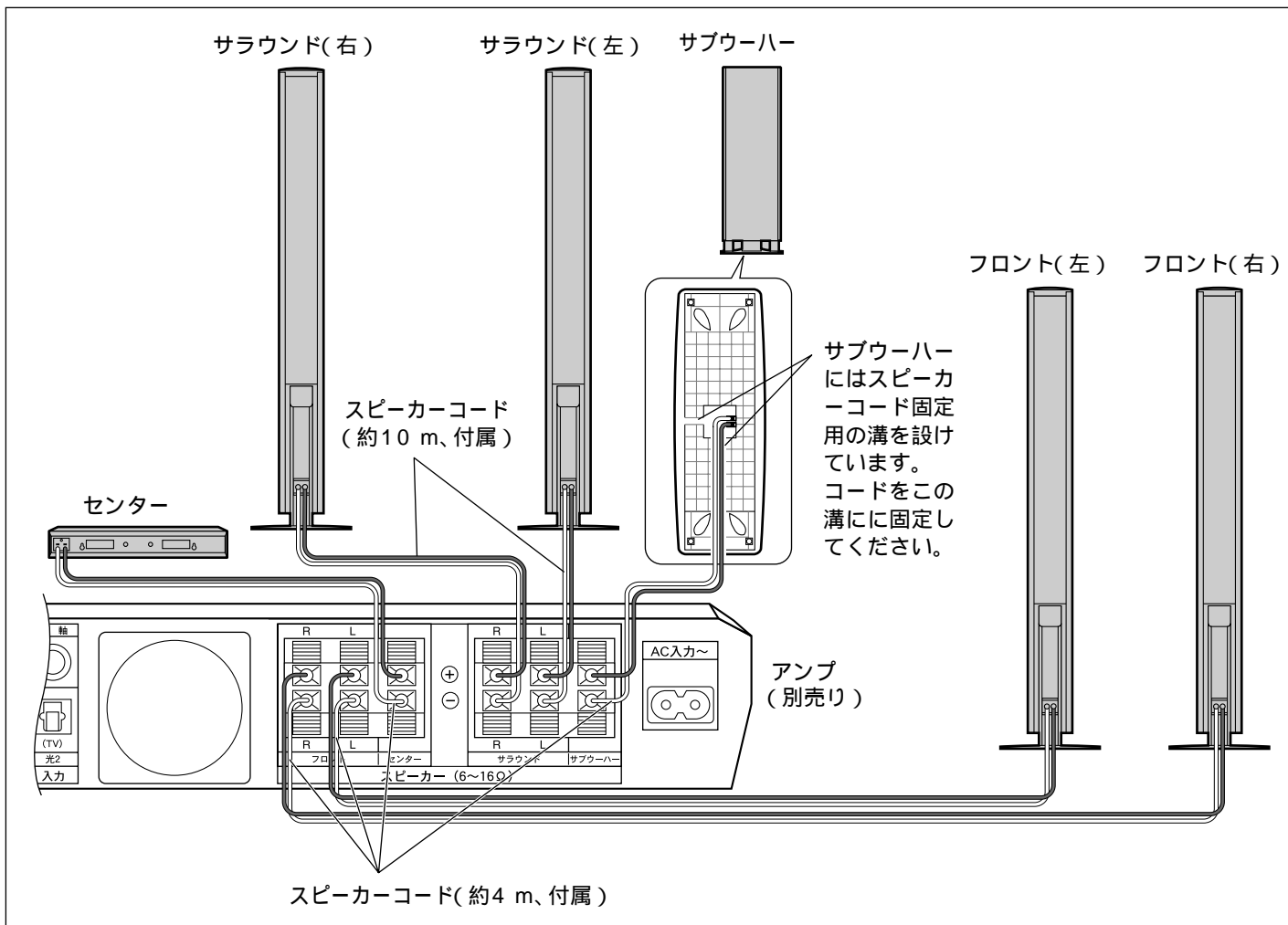
・直射日光のあたる場所など温度が高いところ
・振動の多いところや湿気の多いところ

接続のしかた

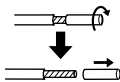
■接続の前に

・アンプの電源を切ってください。
・インピーダンスが6 Ωのスピーカーに適合し、サブウーハー用アンプを内蔵したアンプ（別売り）をご使用ください。

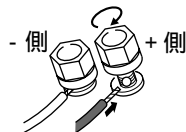
■接続図

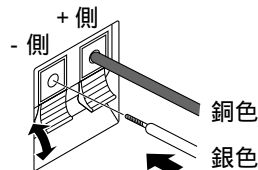
サラウンド（右）
サラウンド（左）
サブウーハー
フロント（左）
フロント（右）
スピーカーコード（約10 m、付属）
※サブウーハーにはスピーカーコード固定用の溝を設けています。コードをこの溝にに固定してください。
センター
AC入力～
アンプ（別売り）
R L
スピーカー（6～16Ω）
スピーカーコード（約4 m、付属）

■スピーカーコードの接続

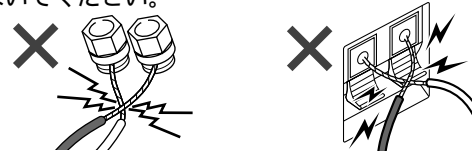
スピーカーコードの色をご確認の上、正しく接続してください。誤った接続をすると故障の原因になります。

❶ スピーカーコードの先端表皮をねじりながら、抜き取る。

フロント、サラウンド

❷ 穴が見えるまでつまみを回してゆるめる。

❸ 穴に芯線を差し込み（①）つまみを締める（②）。

センター、サブウーハー

❷ 穴が見えるまで端子を押し、芯線を差し込んで離す。

お願い

・スピーカーコードの銅色側(＋)、銀色側(－)は絶対にショートさせないでください。

・スピーカーコードを接続した状態でスピーカーを移動しないでください。ショートなどの原因になることがあります。
・スピーカーコードの配線処理は、束ねてひもでくくるなどして、確実に行ってください。

■当社製AVコントロールアンプSA-XR10をご使用の場合の設定例

SIZEの設定：フロント、センター、サラウンドともSMALL
サブウーハーの有無の設定：YES
距離の設定　：視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定する。
低域フィルターの設定：200 Hz
出力レベルの設定　　：視聴位置で、各スピーカーの音量が同じに聞こえるようにテスト信号で調整する。

詳細はアンプの取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、スピーカーシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品　名	スピーカーシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SB-TP50	故障の状況	できるだけ具体的に

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　**お客様ご相談センター**

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は…　**06-6907-1187**

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　**修理ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区
- **札幌**　札幌市厚別区厚別南2丁目17-7　☎(011)894-1251
- **旭川**　旭川市2条通21丁目左1号　☎(0166)31-6151
- **帯広**　帯広市西19条南1丁目7-11　☎(0155)33-8477
- **函館**　函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）　☎(0138)48-6631

東北地区
- **青森**　青森市第二問屋町3-7-10　☎(017)739-9712
- **秋田**　秋田市御所野湯本2丁目1-2　☎(018)826-1600
- **岩手**　盛岡市羽場13地割30-3　☎(019)639-5120
- **宮城**　仙台市宮城野区扇町7-4-18　☎(022)387-1117
- **山形**　山形市流通センター3丁目12-2　☎(023)641-8100
- **福島**　福島県安達郡本宮町字南ノ内65　☎(0243)34-1301

首都圏地区
- **栃木**　宇都宮市御幸町194-20　☎(028)689-2555
- **群馬**　高崎市大沢町229-1　☎(027)352-1109
- **水戸**　水戸市柳河町309-2　☎(029)225-0249
- **つくば**　つくば市花畑2丁目8-1　☎(0298)64-8756
- **埼玉**　桶川市赤堀2丁目4-2　☎(048)728-8960
- **千葉**　千葉市中央区星久喜町172　☎(043)208-6011
- **東京**　東京都世田谷区宮坂2丁目26-17　☎(03)5477-9780
- **山梨**　甲府市下飯田2丁目1-27　☎(055)222-5171
- **神奈川**　横浜市港南区日野5丁目3-16　☎(045)847-9720
- **新潟**　新潟市東明1丁目8-14　☎(025)286-0171

中部地区
- **石川**　石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80　☎(076)294-2683
- **富山**　富山市寺島1298　☎(076)432-8705
- **福井**　福井市開発4丁目112　☎(0776)54-5606
- **長野**　松本市大字笹賀7600-7　☎(0263)86-9209
- **静岡**　静岡市西島765　☎(054)287-9000
- **名古屋**　名古屋市瑞穂区塩入町8-10　☎(052)819-0225
- **岡崎**　岡崎市岡町南久保28　☎(0564)55-5719
- **岐阜**　岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30　☎(058)323-6010
- **高山**　高山市花岡町3丁目82　☎(0577)33-0613
- **三重**　久居市森町字北谷1920-3　☎(059)255-1380

近畿地区
- **滋賀**　守山市勝部6丁目2-1　☎(077)582-5021
- **京都**　京都市伏見区竹田中川原町71-4　☎(075)672-9636
- **大阪**　大阪市北区本庄西1丁目1-7　☎(06)6359-6225
- **奈良**　大和郡山市椎木町404-2　☎(0743)59-2770
- **和歌山**　和歌山市中島499-1　☎(073)475-2984
- **兵庫**　神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6　☎(078)272-6645

中国地区
- **鳥取**　鳥取市安長295-1　☎(0857)26-9695
- **米子**　米子市米原4丁目2-33　☎(0859)34-2129
- **松江**　松江市平成町182番地14　☎(0852)23-1128
- **出雲**　出雲市渡橋町416　☎(0853)21-3133
- **浜田**　浜田市下府町327-93　☎(0855)22-6629
- **岡山**　岡山県都窪郡早島町矢尾807　☎(086)292-1162
- **広島**　広島市西区南観音8丁目13-20　☎(082)295-5011
- **山口**　山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23　☎(083)986-4050

四国地区
- **香川**　高松市勅使町152-2　☎(087)868-9477
- **徳島**　徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108　☎(088)698-1125
- **高知**　南国市岡豊町中島331-1　☎(088)866-3142
- **愛媛**　松山市土居田町750-2　☎(089)971-2144

九州地区
- **福岡**　春日市春日公園3丁目48　☎(092)593-9036
- **佐賀**　佐賀市本庄町大字本庄896-2　☎(0952)26-9151
- **長崎**　長崎市東町1949-1　☎(095)830-1658
- **大分**　大分市萩原4丁目8-35　☎(097)556-3815
- **宮崎**　宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2　☎(0985)85-6530
- **熊本**　熊本市健軍本町12-3　☎(096)367-6067
- **天草**　本渡市港町18-11　☎(0969)22-3125
- **鹿児島**　鹿児島市与次郎1丁目5-33　☎(099)250-5657
- **大島**　名瀬市長浜町10-1　☎(0997)53-5101

沖縄地区
- **沖縄**　浦添市城間4丁目23-11　☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

■スピーカーシステム（SB-FS50）

型式	2ウェイ3スピーカーシステム 密閉型
使用スピーカー	
ウーハー	8 cmコーン型×2
ツイーター	2.5 cmセミドーム型
インピーダンス	6 Ω
許容入力	200 W（MUSIC） 100 W（DIN）
出力音圧レベル	81 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	3 kHz
再生周波数帯域	140 Hz～50 kHz（−16 dB） 180 Hz～45 kHz（−10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	240×1108×211 mm
質量	約 5.5 kg

■スピーカーシステム（SB-PC50）

型式	3ウェイ5スピーカーシステム バスレフ型
使用スピーカー	
ウーハー	5 cmコーン型×4
ツイーター	2.5 cmセミドーム型
インピーダンス	6 Ω
許容入力	200 W（MUSIC） 100 W（DIN）
出力音圧レベル	82 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	3.5 kHz, 4.5 kHz
再生周波数帯域	130 Hz～50 kHz（−16 dB） 150 Hz～45 kHz（−10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	430×64×100 mm
質量	約 1.8 kg

■サブウーハー（SB-W50）

型式	1ウェイ2スピーカーシステム バスレフ型
使用スピーカー	
ウーハー	14 cmコーン型×2
インピーダンス	6 Ω
許容入力	200 W（MUSIC） 100 W（DIN）
出力音圧レベル	81 dB/W（1.0 m）
再生周波数帯域	32 Hz～500 Hz（−16 dB） 38 Hz～400 Hz（−10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	160×450x408 mm
質量	約 6.4 kg

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
・アルコールやシンナーは使わないでください。
・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品　番	SB-TP50
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	☎（　　）　–	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　–	

松下電器産業株式会社　AVCネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT6613-S

M0602YN0